

『スマイルケア(医療従事者ケアボランティア)実施報告』

日本東方医学会医療連携鍼灸師、乃木坂あか羽鍼灸院 赤羽峰明

「序文」

日本東方医学会・医療連携鍼灸師は、コロナ禍の中で疲弊する医療従事者に対し、鍼灸を通じてケアを行うボランティア活動「スマイルケア」を実施したので、ここに報告したい。

「スマイルケア」とは、2019年より東方医学会において活動している医療連携鍼灸師によって行われる鍼灸を施術するボランティア活動である。「医療連携鍼灸師」とは、医師と鍼灸師の医療連携を円滑に進めるべく活動している東方医学会所属する鍼灸師で、その連携において「ルール」「医療連携倫理要綱」「適正」を東方医学会で制定し認定を受けた鍼灸師である。

「実施」

今回の「スマイルケア」は、2020年8月5日(水)にJR吉祥寺駅から徒歩で5分程度の立地にある吉祥寺中医クリニックで実施された。

ケアを受ける医療従事者は3名(医師・鍼灸師・受付)、鍼灸施術は医療連携鍼灸師3名で行われた。

防疫の為に備品は、フェイスガード・ゴーグル・マスク・グローブ・使い捨て雨具(防護服の代用)を用意し、施術に使う器具は各自の慣れたものを持ち込み使用した。使用した用具は全て各自で持ち帰り、処分する事とした。

今回の施術時間は問診・アンケートを含め30分、クリニックの休憩時間を利用して実施、施術内容は問診から伺った主訴に対し、各鍼灸師が被施術者に適宜対応した。また、施術場所はクリニック内のベッドを3台借りて同時に施術を行った。

「考察」

クリニック内では消毒・換気・ディスタンスなどの3密対策が行われており、待合室では密にならないようにひとつ間隔でぬいぐるみが置かれるなど工夫されていた。吉祥寺中医クリニックは漢方・中成薬を扱う総合内科であるため、様々な疾患の患者が来院するとの事である。来院者の中には、covid-19の疑い患者も含まれることから、クリニックを訪れる業者なども含む来院者総数を少なくするようにしているとの事でもあった。ここにコロ

ナ禍におけるボランティア実施の難しさがあるように考える。しかしながら、アンケートを見ても、概ね満足頂けたようで私たちとしても一安心している。

鍼灸師の医療連携を進めていく上で、医療従事者に鍼灸を知ってもらう事は大変意味がある。鍼灸を受けたことのない医療従事者もまだまだいると考えられるので、コロナ禍のボランティアと限定せず、鍼灸の啓蒙活動の一環として、また、鍼灸師と医療従事者との交流の一環として継続する可能性も模索していきたい。

「謝辞」

今回、来院総数を限定している状況の中、ボランティアを受け入れて下さった「吉祥寺中医クリニック」長瀬先生・富所先生には深く謝意を表します。また、ボランティアとして参加して下さった医療連携鍼灸師の大西先生・白石先生にも同じく感謝の意を表したいとと思います。